

I 教育目標

1 学校経営計画

(1) 教育目標「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子

生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子

心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2) 目標具現化の柱

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

ア 安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実

イ 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にしている学校生活の充実

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

ウ 生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践

エ 教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む、授業改善や業務改善の充実

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

オ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実

カ 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを一人一冊配布し、日常的に確認できるようにする 緊急時を想定した事前訓練や研修の実施 	危機管理マニュアルを理解し、緊急時に取りべき行動が分かっている	保健安全
		<ul style="list-style-type: none"> 日常的な校内巡視による施設管理 教員と連携し、迅速で計画的な物品整備 	不良個所の迅速な改善と、物品の在庫状況の確認を行っている	事務部
イ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にしている学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> 成果を発表する時間を設定し、お互いの良さを認め合えるようにする 人権チェックリストの活用、人権研修等の実施 	児童生徒が自分のことに自信をもって取り組み、友だちに関わろうとすることができる	教務・生徒指導

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学部9年間で学習する各教科の内容を、年間指導計画に設定し、偏りなく幅広い学習を行うようにする 	児童生徒、一人ひとりの学びの積み重ねを教職員間で共有できる	教務・生徒指導
		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に対し、あらわれの見取りを複数で確認し、実態把握をする 実態に合ったスモールステップでの目標を設定する 	児童生徒が、「わかった、できた、またやりたい」という気持ちで活動し、自分の意思や気持ちを表現している	学部
		<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画をもとに自立活動の目的について複数で検討 専門家の研修実施 アプリの情報共有 	実態把握をし、児童生徒一人一人に合ったコミュニケーション手段を取り入れている	自立活動・情報
エ	教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む、授業改善や業務改善の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の思考の流れを想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす 	「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えがある授業を行っている	研修
		<ul style="list-style-type: none"> 授業改善に向けた「改善タイム」を設置する。 Google アプリの運用を行う 	教職員が授業準備や反省の時間を十分に取り、授業改善が重ねられる	教務・生徒指導

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

オ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態等に沿った活動の設定 ねらいを明確にした実施計画の立案 	児童生徒、教職員、保護者、地域の方が、交流をして良かったと思っている	進路地域支援
カ	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校間交流、通学生と訪問生の交流を実施する 分かりやすく、児童生徒の良さや頑張りが伝わる交流学习を計画 相手先との十分な連絡、情報共有 	児童生徒が、同世代との関わりを楽しみ、自分から関わっている	学部